

## 調達価格等算定委員会（第57回）

### 議事要旨

#### ○日時

令和2年6月5日（金）10時30分～11時00分

#### ○場所

オンライン会議

#### ○出席委員

山内弘隆委員長、大石美奈子委員、高村ゆかり委員、松村敏弘委員、山地憲治委員

#### ○事務局

松山省エネルギー・新エネルギー部長、山崎省エネルギー・新エネルギー部政策課長、清水新エネルギー課長、杉浦再生可能エネルギー推進室長、梶新エネルギー課長補佐

#### ○議題

（1）新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた令和2年度入札の実施について

#### ○議事要旨

（1）新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた令和2年度入札の実施について

#### 委員

- 事務局案に異論はない。
- 第7回太陽光入札の事業計画受付について、当初の期間に申し込んだ事業者と、上期で入札参加資格を得たものの落札に至らなかった事業者との間には、受付期間に3ヶ月程度の差が生じる。当初の期間に申し込んだ事業者への不利益も懸念したが、新型コロナウイルス感染症の情勢が不確実であることを踏まえると、準備期間を長く設定する、事務局案が望ましい。
- 新型コロナウイルス感染症について、今後第2波、第3波が来る懸念もあり、状況に応じて再度検討が必要である。
- 第6回太陽光入札については、スケジュールの延期により、落札から認定取得までの期限が短くなるため、事業者に留意させる必要がある。

- 新型コロナウイルス感染症以外にも、今後も不測の事態はあり得る一方で、制約もあり、常に柔軟な対応ができるとは限らない。無理のない範囲であることが前提ではあるが、事業者に対しては、延期後の期限まで準備を遅らせるのではなく、リスクに適切に対処することを前提に、早めに対応させる必要がある。
- 新型コロナウイルス感染症に限らず、今後も不測の事態があり得るという観点では、入札そのものの回数を増やすことで、リスク分散を図ることも一案ではないか。
- 新型コロナウイルス感染症について、今後の情勢は必ずしも見通すことができない。事務局は再エネ導入に与えるインパクトを注視し、入札も含めたFIT制度の運用について、必要な対応をお願いしたい。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、新規の経済活動が抑制されている。再エネ導入の足が止まらないことは、経済対策や雇用確保からも重要であるため、政府においては、総合的な検討をお願いしたい。

#### **委員長**

- 令和2年度の入札について、事務局案のとおりとすることで取りまとまった。
- 資料2に基づき「令和2年度の入札制度に関する意見」を取りまとめることに委員会の合意が得られた。

(お問合せ先)

資源エネルギー庁

省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー課

電話：03-3501-4031

FAX：03-3501-1365